

「情報管理検討に関する研究」の総括

大国真彦¹ 日比逸郎² 山内邦昭³ 久道 茂⁴

要約：現在の子ども健康状態はどのような状況であるか、コーホート調査のための長期にわたる情報管理はいかにあるべきかを検討し小児期からの成人病予防における最も有効な介入方法を探らんとする。

見出し語：子どもの健康状態、コーホート調査、情報管理、成人病予防

成果：

1. 村田班、福渡班および鏡森班に共通する最小限の調査内容を登録し、継続したデータ入力を行えるようなコンピュータソフトの開発に着手した。
2. 現在かなりのデータが入力されている。各班共同で利用し得ることを合意した。
3. 中間的なデータの運用も可能とし、また出来る限り長期的なデータ集積を目標とすることが決定され、そのためのシステムの開発について今後の議論の余地を残した。
4. 小児期からの成人病予防のための介入方法は、なお検討の余地がある。
5. 介入による効果についても一部にて報告がなされている。

-
1. 日本大学医学部小児科学教室
(Dept. of Pediatrics, Nihon University School of Medicine)
 2. 国立小児病院内分泌代謝科
(Division of Endocrinology & Metabolism, National Children's Hospital, Tokyo)
 3. (財) 予防医学事業中央会 (Japan Association of Health Service)
(財) 東京都予防医学協会 (Tokyo Health Service Association)
 4. 東北大学医学部公衆衛生学教室
(Dept. of Public Health, Tohoku University School of Medicine)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:現在の子ども健康状態はどのような状況であるか、コホート調査のための長期にわたる情報管理はいかにあるべきかを検討し小児期からの成人病予防における最も有効な介入方法を探らんとする。